

「根治的膀胱摘除後の手術部位感染」の研究に関するお知らせ

膀胱がんに対して外科治療を受けられた患者さんに関する検討にご協力ください。

当科では年に20名～30名前後の患者さんが膀胱がんの診断で膀胱全摘術および尿路変向術を受けられています。このような患者さんを対象に以下の調査を行うことになりました。

1. 1990年から2012年までの間に当科で膀胱全摘除術および尿路変向術を受けられた患者さんのうち、術後に手術部位感染を起こした方を検討し、米国疾病対策予防センターのガイドラインとClavien-Dindo分類の2つの分類の違いを研究します。
2. 患者さんの個人情報外部に漏れることはありません。
3. 本研究にご自分の検査結果を使用してほしい場合は平成25年4月1日～平成26年3月31日までに下記にご連絡いただければ、研究対象より除外致します。
4. 詳しい情報をお知りになりたい方は、下記担当者にお尋ねください

研究責任者 札幌医科大学泌尿器科 高橋 聡

連絡先 〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目 TEL：011-611-2111

平日の連絡先 札幌医科大学泌尿器科学教室 内線 3472

夜間・休日の連絡先 札幌医科大学附属病院 泌尿器科看護室 内線 3478

このお知らせは、厚生労働省臨床研究に関する倫理指針（平成21年4月1日施行）に基づいて掲載しております。）